

納入事例

帝国劇場 様

「帝劇」の通称で親しまれる帝国劇場様は、『レ・ミゼラブル』や『ミス・サイゴン』など海外からのミュージカル作品も多数上演される名劇場。一流の俳優と演出家による公演が日夜行われています。このたび、ステージのミキシングコンソールに DiGiCo の SD10T が導入されました。「T」のつくモデルは、プレイヤー設定やマトリクスノードディレイなど、劇場や演劇に特化した機能を持たせたシアターバージョンで、選定の際の必須項目となりました。また、初導入となった 32bit AD/DA コンバーター搭載の I/O カードにも高い評価をいただきました。

運用開始：2018 年 7 月



▲ DiGiCo デジタル・ミキシングコンソール「SD7T(左)」と「SD10T(右)」

オペレーターの株式会社フリックプロ 秋山裕裕さんにお話をうかがいました。「2012 年のミス・サイゴンの上演時にイギリスのプランナーからの指定で SD7T を導入したのが最初で、それ以来 DiGiCo の使いやすさを実感していました。特に、シアターバージョンの使い勝手が抜群で、コントロールグループのアサインとマトリクスディレイがすごく使いやすい。それに、同じ役を複数の役者が演じるミュージカルでは、役者ごとに EQ などのかけ方が違っているので、昔の卓だとその都度変更しなければいけなかったけれど、シアターバージョンのプレイヤー機能を使うとその必要がない。それぞれの演者の設定が全部のシーンに反映されるので、とても便利。日本のミュージカルでは、役者のワイヤレスマイク用とオーケストラ用で別々の卓を用意して 2 人でオペすることが多いため、スペースのことも考えて SD7 よりもコンパクトでシアターバージョンがある SD10T を選びました。」と、SD10T を選んだ理由を語ってくださいました。



▲オペレーターの秋山裕裕さん（株式会社フリックプロ）

「DiGiCo がすごいと思うのは、基本ソフトが同じところ。ボタンの位置が違うなど SD7 と SD10 の物理的な違いやフェーダー ch の制限があるくらいで、ほとんど違和感なく使えました。オフラインソフトも見た目の画面も全く同じ。PC で組んだものがそのまま卓の画面に現れるから、ストレスなく移れたのでとても助かっている。」とのこと。全モデル共通という DiGiCo の操作性が、新しいコンソール導入後もスムーズなオペレートを可能にしています。



▲ SD-MINI Rack に収まっている I/O カード 青いカードが 32bit ADC 搭載のマイクブリ と 32bit DAC 搭載のアウトプットカード

「32bit のインプットは素晴らしい！ 今までとは別次元。」と、手放しの高評価をいただきました。「最初は、32bit がどれだけのものか想像もつかなかったけれど、使ったらもう元には戻れない。」とのこと。スピーカーやワイヤレスは今までも同じシステムなのに、マイクチェックで感じるダイナミックレンジの広さや明瞭度が全然違うという。特に 30 人ほどの大コーラスの際、「フェーダーがワッと上がった時の感じ。団子にならずに、一つ一つがはっきり見える感じがする。」と。「無理を言って入れて良かった。」と破顔されました。

主要な納入機材

機材	ブランド名	製品名
デジタル・ミキシングコンソール	DiGiCo	SD10T (Theater Ver.)
I/O ラック	DiGiCo	SD-Rack、SD-MINI Rack
32bit AD コンバーター搭載マイクブリアンブカード	DiGiCo	MOD-SDR-ADC32B
32bit DA コンバーター搭載アウトプットカード	DiGiCo	MOD-SDR-DAC32B
仕込み用ミニチュア・マイクロホン (ヘッドセット、楽器用)	DPA Microphones	CORE4066、CORE4099

▶東宝株式会社 帝国劇場

東京都千代田区丸の内三丁目 1 番 1 号



●お問い合わせ先

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.
ヒビノインターサウンド株式会社
スチューダー・ジャパン・ブロードキャスト株式会社

TEL : 03-5783-3110
TEL : 03-5783-3882
TEL : 03-3450-4851

H!BINO

hibino group